

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	公共施設への太陽光発電設備等設置による再生可能エネルギー利活用高度化事業	
補助事業者名	掛川市	
補助事業の概要	<p>令和4年度事業で行った「公共施設の再エネ発電設備導入可能性調査」において、設備設置が特に有望とされた6施設を対象に、令和5年度、再エネ設備及び蓄電設備設置工事に係る設計業務を一括して実施した。</p> <p>今年度はその設計を基に「南体育館しーすぽ」へ79.68kWの太陽光発電設備と30kWhの蓄電池を設置した。</p>	
総事業費	51,792,000円	
補助金充当額	49,170,000円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度までに新たな発電設備を3箇所以上設置する。 ・2030年度までに公共施設から排出されるGHG排出量を7,583t-CO₂とする。 ・2030年度に、市内消費電力における再エネ比率36.1%及びGHG排出量46%削減(2013年度比)を達成する。 	
補助事業の成果及び評価(事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	<p>太陽光発電設備及び蓄電設備を設置したことにより、施設の脱炭素化が図られる。また、余剰電力を地域新電力かけがわ報徳パワーを通じて他の公共施設等に供給することで、公共施設全体の脱炭素化及びエネルギーの地産地消が推進される。入口付近にモニターを設置したため、年間約9万人の施設利用者がエネルギーの利活用について視覚的に捉えることが可能となった。</p> <p>さらに、同施設は災害時の広域避難所として指定されているため、蓄電設備設置の設置により、停電時にも電力を使用することが可能となり、レジリエンスの向上に寄与した。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ: 間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 太陽光発電設備及び蓄電設備設置にかかる工事 2 工事監理業務
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 制限付き一般競争入札 2 随意契約
	契約の相手方	<ol style="list-style-type: none"> 1 浜電工業株式会社 2 福田一級建築士事務所
	契約金額	<ol style="list-style-type: none"> 1 49,170,000円 2 2,310,000円

来年度以降の事業見通し	可能性調査で設置可能とされた残り5施設へ、太陽光発電設備を設置する。
-------------	------------------------------------

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。